

学校全体で育てよう「6年間の土台～スタートカリキュラムの共有～」



学習指導要領が目指しているのは3rdステージのスタートカリキュラムです。
自校のスタートカリキュラムは「今、どのステージか」チェック☑をしてみましょう。

check!

「教室の窓 低学年版(東京書籍)」より
引用(一部加工)

2ndステージ

安心して学校生活を
スタートすることを目指す。

- ☐園で経験した遊びや体験活動を活用
- ☐学びやすい環境を構成(視覚支援等)
- ☐出会いの楽しさを感じる活動の工夫

1stステージ

小1プロブレムの解消

を目指す。

- ☐学校生活への適応指導中心

3rdステージ

いきいきと学びに向かう

子供を目指す。

- ☐弾力的な時間割の設定の工夫
- ☐思いや願いを活かした生活科の探究活動を中心とした合科的・関連的指導
- ☐幼児期の教育で育まれた資質能力(幼児期の終わりまでに育ってほしい姿)をふまえたカリキュラム

幼児期において、自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等に円滑に接続され、**主体的に自己を発揮しながら学びに向かう**ことが可能になるようなスタートカリキュラムの充実が求められています。



スタートカリキュラムは1年生担任だけのものではありません。校内の共有はできていますか？学校全体で確認し、見守り育てる体制をつくりましょう。

【職員会等で】

- ☐ 自校のスタートカリキュラムで期待する子供の姿を確認する

(例) ・安心して自己を発揮する子供
 ・みんなと楽しみながら関わり、好奇心をもつ子供
 ・思いをふくらませ、考えを広げ、学びに夢中になる子供 等

- ☐ 教職員の「1年生への関わり」を確認する

スタートカリキュラムで期待する子供の姿を踏まえ、「主体的に自己を発揮しながら学びに向かうこと」が可能となるように関わりを工夫しましょう。

(例) すぐに教えるのではなく、子供の思いや今までの経験を聞くことで「考えること」を促します。

困っていることは
なあに？

こんなとき、
園ではどうしていたの？

どうしたらいいと思う？
どうしたいの？

※定期的に子供の姿や指導の在り方を語り合しましょう

【始業式で・各クラスで】

- ☐ 在校生に「1年生への関わり」について投げかける

(例 6年生へ) かわいい1年生も、この前まで園の年長さんとしてがんばっていたんだよ。
 今は学校のやり方がわからなくて困っているだけかもしれないから、すぐに手伝うの
 ではなく「どうしたの?」「何か困ってるの?」ってまずは話を聞いてみてあげて…
 そのあとで、どうしたら1年生が自分でできるかを一緒に考えてあげよう。

【学級だよりや懇談で】

- ☐ 保護者に「1年生が興味や関心をもって自ら学習に向かおうとする姿」をエピソードで伝える

スタートカリキュラムは6年間の学びの土台をつくる大切なものです。1年生が安心していきいきと学校校生活をスタートできるようにその意義、考え方、ねらいを学校全体で共有しましょう。

